

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社ガクトラボ	本社所在地	石川県
業種	サービス業(他に分類されないもの)	総従業員数	4名
事業概要	実践型インターンシップ事業、採用活躍支援事業、学生活動・キャリア支援事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規定
テレワーク担当部署	総務
テレワーク対象者	全員
実施者数	4名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2015年法人設立時から、ライフスタイルに合わせた働き方の尊重や、業務の生産性向上を目指し、リモートワークを可能としていた。
- 固定電話やFAXを置かず、出社をしなくても勤務できる体制をとっていた。
- 当初打ち合わせ時は100%対面で実施していたが、新型コロナウイルスの感染症の影響を受け、2020年4月より拡大防止の観点から出社機会月2回程度を目標とし、PCの整備など更にリモートワーク体制を強化した。
- その結果徐々に在宅勤務やモバイル勤務が浸透し、全従業員において2020年度4月~9月で月平均6.1回(実施率55%)、2020年10月~2021年3月で月平均14回(実施率80%)、2021年4月~9月で月平均18回(実施率87%)のテレワークを実施している。

テレワークの概要・特徴

- 2021年4月~9月において、従業員平均で月平均18回(週4回以上)の在宅勤務またはモバイルワークを実施している。社員はもちろん、副業兼業、プロボノ、インターン生など含めて100%テレワーク実施者である。
- 普段のコミュニケーションは基本的にチャットツールやWEB会議システムを利用して行っている。
- 会社の資料は共用のオンラインストレージに保存し、場所を選ばずアクセスが可能である。
- オンラインカレンダーを活用することで、全員がリアルタイムで予定の共有・調整ができている状態となっており、各々が自己管理にも活用している。
- 請求書・契約書等の文書について、基本的にデータでの送付及び受領を行っている。契約に関しては電子契約システムを導入し、契約書の送付、押印手続き、受領などオンライン上で一括して行っている。(一部データ送信不可の企業・行政機関を除く。)

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- テレワークできる環境の整備により、プロボノ、副業など「多様な人材採用」が急激に進み、新規事業の複数立ち上げを実現できたことでコロナ禍の逆風を打破することができた。それだけでなく、これまで社内で培うことが難しかった専門性(法務、営業、SNS戦略など)を確保することができ、既存事業の質が向上し、メンバー相互の学び合い・スキルアップが日常的に行われている状態になった。
- 海外・首都圏などの遠隔地在住、育児中の人材など、地元貢献や社会貢献への思いはあるが何かしら就労への制約がある人の活躍の場を、テレワーク環境下だからこそ作ることができている。都市部から参画していた副業社員が短期間石川県に移住し地方企業の課題解決に取り組んだり、石川県への移住を考えている都市部人材が弊社でのプロボノ活動を通して石川県在住者とのゆるやかなコミュニティ形成を行ったりしている。